

報道関係者各位  
プレスリリース

2013年7月28日  
水とくらしの研究所

【飲み水に関する実態調査を実施】

## 飲み水代に2.4万円は高い？

### 我が家の水コスト振り返りのススメ

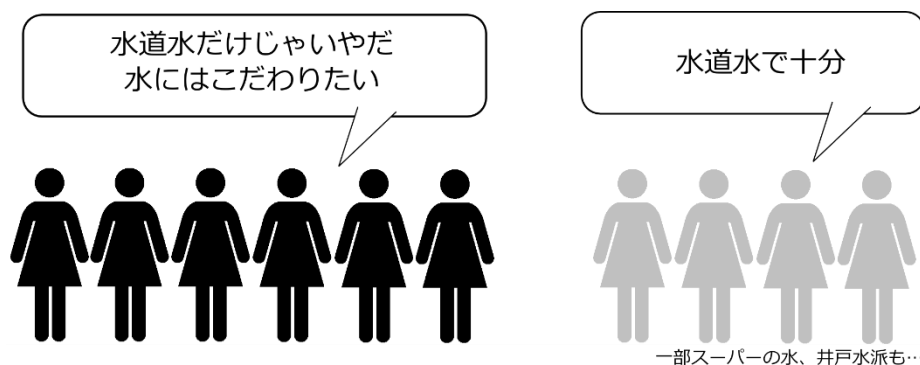
水とくらしの研究所（水ラボ）は、7月22～23日の2日間、家庭で使う飲み水／料理の水（以下「飲み水」）の実態について、アンケート調査を実施しました。

〔調査期間〕7月22日～23日 〔調査方法〕20～60代の男女1201人にweb調査

詳しい調査結果と一般読者への提案を、水ラボのWebマガジン(<http://ysgv.jp/waterlab>)でご紹介しています。ぜひご覧ください。

### 6割が市販の水、浄水器を使う「水にこだわる派」

市販の水、浄水器を使っている家庭が、全体のおよそ59%におよびました。そのほとんどが水道水+αのコストをかけると回答しており、飲み水に対する関心の高さがうかがえます。ここでは、市販の水の購入者+浄水器ユーザー（どちらか、または両方）を「水にこだわる派」と定義しました。



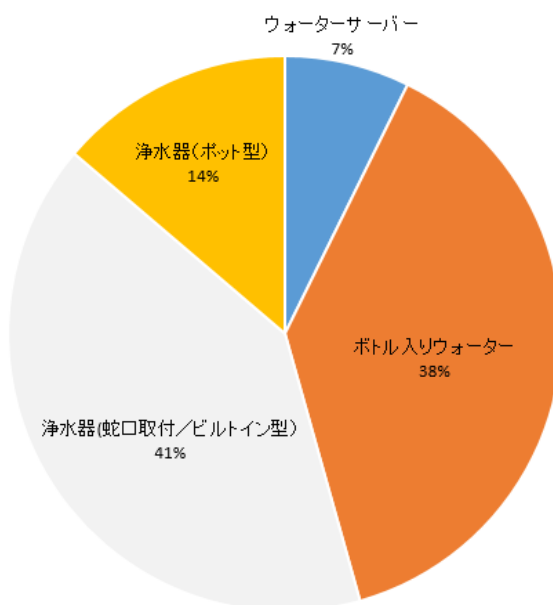
少なくとも10人に6人が飲み水の対策を講じています！！

## 市販の水と浄水器の人気の拮抗している

「水にこだわる派」の内訳は右の通り。市販の水を買う家庭（45.6%）を、浄水器を利用する家庭（54.4%）が、やや上回りました（重複ユーザーあり）。

個別に見ると、38%を占めるボトル入りウォーターと、41%を占める浄水器（蛇口取付／ビルトイン型）のユーザーが多数。

CM などでもさかんに告知されているウォーターサーバーは、7%にとどまりました。手軽に使える浄水器（ポット型）は根強い人気です。



## 「水にこだわる派」の5割弱が年間2万4000円以上

「水にこだわる派」の44%（全体の26%）が、1カ月で2000円以上＝年間2万4000円以上を、飲み水にかけていると回答しました。水道代を除いた金額です。

また、1カ月で4000円以上使う家庭も、「水にこだわる派」の18%（全体の10%）に上ります。年間4万8000円以上になりますが、飲み水を重視するなら当然の額なのかもしれません。

## それでも半数の家庭は水道水を飲んでいる

とはいえ、日常的に水道水を飲んでいる人は、1201人中621人と、全体の半数以上です（市販の水／浄水器との併用を含む）。コップで飲むのはボトル入りの水でも炊飯は水道水で、といった使い分けが予測されます。安全でおいしいとされる日本の水道水の信頼性は、まだまだ健在だといえるでしょう。



## 我が家の水コスト振り返りのススメ

水ラボでは、まず飲み水にかけているコストを再認識することを、おすすめしています。詳しくは、水ラボのWebマガジン (<http://ysgv.jp/waterlab>) をご覧ください。調査結果の資料も閲覧可能です。

本件についてのお問い合わせは以下までお願いいたします

水ラボ事務局（エモーション株式会社内）

TEL：03-5542-1421 FAX：03-5542-1422

Email：[mail@emotion-inc.co.jp](mailto:mail@emotion-inc.co.jp)

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 3-2-6 ストック本石ビル 10F

#### ■水ラボについて

水ラボ（水とくらしの研究所）は、沖縄で海水淡水化装置や高性能浄水器を開発するワイズグローバルビジョン株式会社が運営する Web メディアです。生命と生活の源である「水」をテーマに、暮らしに役立つ情報をお届けしています。

URL：<http://ysgv.jp/waterlab>

#### ■ワイズグローバルビジョンのピッチャーピュア（ポット型浄水器）

水道水を浄水するだけでなく、海洋性のミネラルを加える新発想のポット型浄水器です。一般に、水道水をろ過すると、臭みのある塩素は抜けますが、無味乾燥な味になってしまいます。ピッチャーピュアのフィルターには、沖縄のサンゴが使用されており、ろ過した水に自然と海のミネラルが染みこんでいきます。

[商品情報詳細](#)



★ご興味のある報道関係者様は、上記事務局までお問い合わせください。1 媒体様につき 1 台、製品を無償でご提供させていただきます。